



寄港地情報



サララ (Salalah) / オマーン

※船内テレビ1 OCH「寄港地紹介」も合わせてご覧ください。(4月10日~12日放映)

入港日時： 4月12日(木) 07:00

出港日時： 4月12日(木) 深夜

着岸岸壁： サララ港 ジェネラル・カーゴ・ターミナル
Port of Salalah General Cargo Terminal

最終帰船時刻： 4月12日(木) 19:00

シャトルバス： サララではタクシー組合が強く、市街地へシャトルバスを運行することができません。自由行動されるお客様は港ゲートの外からタクシーをご利用ください。岸壁内は徒歩移動禁止のため、港ゲートまでは「港内連絡バス(無料)」をご利用ください。(連絡バスは乗組員も利用する場合があります。)

飛鳥デスク： 設置はありません。(サララには日本語を話すガイドがおりません。)

■ 緊急連絡先 ■

「飛鳥Ⅱ」： ①Tel: 00-81-80-1121-6937 (携帯電話/寄港中のみ)

②Tel: 00-870-7649-16750 / 16755 (衛星電話)

現地手配旅行会社： コックス・アンド・キングス・ジャパン Cox&Kings Japan

担当： 飯田 Tel: 00-80-4382-5902 (携帯電話/日本語可)

在オマーン日本国大使館： 010-968-24-601028

※海外で利用可能な自動ローミングされる日本の携帯電話から掛ける場合、(0)からダイヤルしてください。

日本へ電話をかける場合： 00 (国際電話識別番号) - 81 - (0を除いた市外局番) - (相手先の電話番号)

※ 日本の携帯電話からかける場合は「00」の代わりに「+」を押して発信する場合があります。

寄港する港の特徴

サララ 飛鳥Ⅱが着岸するサララは首都マスカットから約1,050km離れたドファール地方の中心地です。砂漠の続くアラビア半島にあって、サララの周辺だけはモンスーンの恵を受けて緑が豊かな町です。かつて金と同じ価値があったと言われる乳香の積出港だったことから、古くから海のシルクロードの拠点のひとつとして栄えてきた歴史を持ちます。

気候と服装

気候情報 予報 最高気温：31℃ 最低気温：25℃。

熱帯モンスーン気候。年間を通して気温差はあまりありません。7月からが雨季ですが降雨量自体は少ないです。

服装のアドバイス 日差しが強いので、帽子、サングラス、日焼け止めや薄手の長袖をお持ちになる事をお勧めします。

時差

日本との時差 日本標準時より5時間遅れています。(サララの正午は、日本時間の午後5時)

治安

外務省海外安全情報 現在、危険情報は出ておりません。

治安情報 オマーンの治安は比較的良いといわれていますが油断は禁物です。スリ、ひったくりにご注意ください。

外出時の注意 外出時には緊急時に備え、緊急連絡先を記載した書類と携帯電話などを必ずお持ちください。

チップ

習慣の有無 習慣化されていませんが、快いサービスを受けたときにはチップを渡します。

金額の目安 サービス料が含まれていない場合は10%程度。

通貨と両替

現地通貨 リヤル・オマーン (RO) 補助通貨はバイザ (Bzs)

RO 1=1,000Bzs=約 275 円 (2018 年 4 月現在)

両替情報 日本円は基本的に利用できません。多くのお店でアメリカ・ドルが通用していますが、おつりは現地通貨となる場合があります。現地通貨への両替サービスはありません。

5 デッキ・レセプションにて 100 アメリカ・ドルパック (¥11,000) の販売を行なっています。

※船内では日本円への再両替はできません。

タクシー

港のタクシーの有無 港のゲート付近に待機しています。(時間帯により、いない場合もあります。)

港ゲートまでは「港内連絡バス」をご利用ください。

「飛鳥Ⅱ」～市街地間の目安

港からサララ市内中心部(乳香スーク) 距離: 約 15 km、所要: 約 30 分、片道: 15 RO (約 43US\$)

市街地からの利用 スークやホテル周辺から利用できます。

料金制度 一般的には交渉制ですが、港ゲートではタリフ(値段表/リヤル表示)による定額制の場合もあります。

乗車前に必ず料金をご確認ください。アメリカ・ドルも受取りますが、おつりが現地通貨になる場合があります。

飲料水

現地の水の安全性 ミネラルウォーターをお勧めします。お部屋のお飲み物をお持ちください。

トイレ事情

市街地での利用 ホテルやレストラン等での利用をお勧めします。トイレットペーパーがない所が多いので、予めティッシュペーパーをご用意ください。

お買い物

港周辺のお店 岸壁内に船員向けの小さな売店があります。アメリカ・ドルが使用できますが、おつりは現地通貨となる場合があります。(港内連絡バスで行くことができます。)

一般商店営業時間の目安 9時～20時頃 ※スークを含め多くの店は13時から16時頃まで昼休みをとります。

お土産一例 乳香、香炉、オマーン人の民族衣装(ディシュターシャとアバヤ)、雑貨類、デザートなど。

ショッピング上のご注意

◆ワシントン条約(絶滅の危機に瀕している野生動植物の国際取引に関する条約)で規制されている動植物およびその加工品は、条約で定められた許可書が無い限り日本への持ち込みはできません。

(規制代表例: 象牙・トラなどの毛皮や敷物、ジャコウシカ・クマなどを含有する漢方薬など)

◆医薬品や化粧品は数量制限があります。(内服薬2ヶ月分以内、外用薬・化粧品は24個以内など)

◆偽ブランド商品・コピー商品などは、日本への持ち込みが禁止されています。

◆輸出証明がある場合でも、ビーフジャーキーなどの肉類・加工品は日本への持ち込みはできません。

◆植物類(生鮮野菜や果実、米)は日本帰国時に植物検疫の対象となり、持ち込めない物もあります。

◆日本帰国時の免税範囲や規制品の詳細は、5デッキ・レセプションにパンフレットをご用意しています。

その他

宗教上の注意 オマーンではイスラム教に基づく習慣や伝統が守られていますので、下記にご注意ください。

◆4月12日の18時から翌日18時まではドライデー(お酒の提供・販売禁止日)にあたり飲酒や喫煙などは控えてください。

◆イスラム教徒以外は入場できないモスク(回教寺院)があります。また、入場できる場合にも肌を露出した服装を避けてください。

◆現地の女性を撮影することは禁止。また男性であっても一言断ってから撮影してください。

◆酒類は一部のレストランやホテルでのみ自由に飲むことができます。

◆男女ともホテルのプールや海水浴場以外では、肌をあまり露出しません。

◆そのほか「ゴミを通りに捨ててはいけない」「飲食は右手で」などの規則もあります。

現地語ひとこと会話

ありがとう・・・ シュ克蘭

こんにちは・・・ アッサラームアレイコム

さようなら・・・ マアッサラマ

4/12 サラール港 周辺のご案内

サラールではタクシー組合が強く、無料のシャトルバスを運行することができません。
また、日本語を話すガイドがないため、飛鳥デスクの設置はございません。

サラール港内の歩行は禁止されているため、飛鳥Ⅱより港ゲートまで港内連絡バスをご利用ください。
タクシーは港ゲートを出たところに待機しています。港ゲートへ行く途中に港内の船員用の日用品、
雑貨を販売する売店に停車いたします。簡単なお土産品はご購入いただけます。

港内連絡バス スケジュール (09:00~18:30)



飛鳥Ⅱ発 (毎時 00分/30分発) = 売店 (毎時 13分/43分発) = 港ゲート着

※ 飛鳥Ⅱ発の最終便は 17:30 です。売店から飛鳥Ⅱへ戻る場合は、一度、港ゲート行きにご乗車
ください。バスの出発時間が遅れる場合もございます。

港ゲート発 (毎時 00分/30分発) = 飛鳥Ⅱ着

※ 港ゲート発の最終便は 18:30 です。バスの出発時間が遅れる場合もございます。

下記①②の番号は裏面地図の番号です。

① **ゴールドスーク (Gold Souq)** 営業時間 09:00~13:00/16:00~20:00

イスラム圏の市場をアラビア語でスークと言います。元は隊商の交易の場として発達しましたが、現在は生活
用品や工芸品など様々なものを扱っています。値札がないので値段交渉が必要ですが、それも楽しみです。

② **アル・フスン・スーク 乳香市場 (Al Husn Souq)**

営業時間 09:00~13:00/16:00~20:00

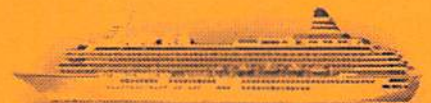
サラールは古くから乳香貿易で栄えた都市で、金と同じ価格で取引される貴重な貿易品でヨーロッパ
にも輸出していました。現在も有名な乳香の産地となっています。乳香や乳香を燃やすための香炉を
中心に、生活用品なども販売されています。

※ 客室内では香炉の利用は火災防止の為、ご遠慮ください。

【タクシーをご利用の場合は・・・】

一般的にタクシー料金は交渉制ですが、港ゲートから乗車する場合はタリフ (値段表) による定額制と
なります。ドライバーは簡単な英語は話します。

※ タクシー料金目安: 港ゲート~乳香スークもしくはサラール市内
片道 15 オマーン・リヤル (約 43 アメリカ・ドル)



【タクシーでお帰りの際は・・・】

タクシーで「飛鳥Ⅱ」へお戻りになる際には、下記アラビア語を運転手にお見せください。

من فضلك خذني الى محطة البضائع العامة في ميناء طلالة

(私をサラール港・ジェネラル・カーゴ・ターミナルまで連れて行ってください。)

■ 緊急連絡先 ■

「飛鳥Ⅱ」着岸岸壁 : ジェネラル・カーゴ・ターミナル General Cargo Terminal

最終帰船時刻 : 19:00

「飛鳥Ⅱ」 : ①Tel: 00-81-80-1121-6937 (携帯電話/寄港中のみ)

②Tel: 00-870-7649-16750 / 16755 (衛星電話)

日本へ電話をかける場合 : 00 (国際電話識別番号) - 81- (0を除いた市外局番) - (相手先の電話番号)

※ 日本の携帯電話からかける場合は「00」の代わりに「+」を押して発信する場合があります。

サララ市内 拡大図



【港内連絡バス】 飛鳥II ⇄ 港ゲート

